

## 単元名 「曲がり」と「おれ」の筆使い

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 「曲がり」と「折れ」の筆使いの違いを理解し、正しく書くことができる。  
 (2) 「曲がり」と「折れ」の筆使いの違いに気を付けて、自分の課題を考えて書くことができる。  
 (3) 「曲がり」と「折れ」の筆使いに気を付けて、字形を整えて書こうとする。

## 標準的な展開例

03020203\_001

【教材名】『ビル』（毛筆）／（こう筆の学習）「曲がり」と「おれ」（硬筆）／（こう筆の学習）文字の組み立て方（硬筆）（P.36～P.39）

【準備等】水書板、電子黒板、書画カメラ、練習用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「曲がり」と「折れ」の筆使いに気を付けて、『ビル』を書く。          ★「曲がり」と「折れ」の筆使いに気を付けて書こう          ○硬筆と毛筆で『ビル』を試し書きし、課題をつかむ。</p> <p>○試し書きと教材文字を比較して、気付いたことを話し合う。</p> <p>○「曲がり」と「折れ」の部分練習をする。</p> <p>○まとめ書きをする。</p> <p>○試し書きと比べて自己評価する。</p> <p>○硬筆でまとめ書きをする。</p> <p>○『ピアノ』を硬筆で書く。</p> <p>2 「曲がり」と「折れ」の違いに気を付けて硬筆で書く。          ★「曲がり」と「折れ」の違いに気を付けて、硬筆で書こう          ○『モ』『ム』を硬筆で試し書きする。</p> <p>○教科書P.38の硬筆文字の「曲がり」と「折れ」の部分はどこか、理解する。          ・「曲がり」と「折れ」の書き方を確認する。</p> <p>○練習する。</p> <p>○自己評価する。</p> <p>○『勉強』『銀紙』『空港』『医院』を書く。</p> <p>3 文字の組み立て方に気を付けて、硬筆で書く。          ★文字の組み立て方に気を付けて書こう          ○『坂』『音』『聞』『原』を書く。</p> <p>○いろいろな組み立て方とその基準を理解する。          自分の課題を見付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硬筆は教科書P.37の「ためし書き」の欄を活用させる。</li> <li>・書画カメラで試し書きを見せ、着目させる。</li> <li>・「曲がり」と「折れ」の筆使いの違いについて理解し、自分の課題を見付けるように促す</li> <li>・「曲がり」では筆の軸を回さないこと、「折れ」では筆を一度止めて筆圧を弱めながら払うことを確認し、水書板で示範したり、DVDを見せたりする。</li> <li>【評】練習を通して、「曲がり」と「折れ」の筆使いと自分の課題を考えて書く「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・筆の穂先の向きと通るところに再度気を付けて書かせる。</li> <li>・試し書きと比べ、基準の達成を確かめさせる</li> <li>・「曲がり」と「折れ」の筆使いに気を付けて正しく書けているか、字形は整っているかを確かめさせる。</li> <li>【評】作品や自己評価を通して、「曲がり」と「折れ」の違いに対する「知識・技能」を評価する。</li> <li>・教科書P.37の「まとめ書き」の欄を活用させる。</li> <li>・「曲がり」と「折れ」のある語句を字形を整えて書くことによって、まとめをする。</li> <li>・毛筆で学習した「曲がり」と「折れ」に気を付けて書かせる。</li> <li>・教科書P.38の硬筆文字をいくつか提示し、「曲がり」と「折れ」の部分を探して発表するよう促す。</li> <li>・「曲がり」は横画から縦画へゆっくり向きを変えること、「折れ」は一度止めて、次の方向を決めて書くことを確認させる。</li> <li>・違いに気を付けて書けているか、確かめながら書かせる。</li> <li>・教材文字以外にも、教科書P.57～P.60の「漢字表」から「曲がり」「折れ」のある文字を探して練習させる。</li> <li>【評】練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・試し書きと比べて評価させる。</li> <li>【評】作品を通して、「曲がり」と「折れ」の違いに対する「知識・技能」を評価する。</li> <li>・「曲がり」と「折れ」のある語句を字形を整えて書くことによって、他の文字への応用を図る。</li> <li>・四字がどのような「文字の組み立て方」の漢字かを考えさせる。</li> <li>・左右、上下、中と外の組み立て方について、大きさのバランスや形について確認させる。</li> </ul>

- 基準に合わせて練習する。
- まとめ書きをし，試し書きと比べて評価する。
- 左右，上下，中と外の組み立て方の漢字を書く。

【評】練習や作品を通して，文字の組み立て方と自分の課題を考えて書く「思考・判断・表現」を評価する。

【評】作品や自己評価を通して，いろいろな文字の組み立て方に対する「知識・技能」を評価する。

・教科書P.57～P.60の「漢字表」から自分で探して書くことでさらに理解を深めさせる。

【 備 考 】